

社会資本総合整備計画 事後評価書

広域災害に備えた誰もが安全安心に暮らせる
防災拠点づくり（防災・安全）

あお もり けん はち のへ し
青 森 県 八 戸 市

令和元年6月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和元年6月4日

計画の名称	1 広域災害に備えた誰もが安全安心に暮らせる防災拠点づくり (防災・安全)							重点配分対象の該当	○			
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)			交付対象	八戸市							
計画の目標	<p>長根公園は、東日本大震災時(2011年3月11日)に救援物資の集積・配送基地となったが、避難場所としては既存施設の老朽化により避難者の安全確保が出来なかった。また、復旧のための支援車輛等の駐車スペースが不足したため、効率的な支援活動に支障があった。今後、厳冬期の大量災害では屋内の施設が必要不可欠であり、とくに津波被害による避難についても長期化が予想される。このことから、屋外に設置され老朽化の著しいスケート場を屋内施設に更新し、大災害時の広域避難地、救援救護活動の前線基地、及び復旧のための資機材や生活支援物資の集積・配送基地となる防災施設として、更には、中心市街地に隣接する立地条件を最大限に活用し、市庁舎も近く防災上重要な位置にもあることから、連携した広域的な防災拠点としての機能強化を図る。</p>											
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の屋内避難人数の増加 : 2,800人(H26.4) → 6,300人(H30年度末)に増加 災害復旧支援車輛等の駐車場の確保量 : 12,800m²(H26.4) → 17,830m²(H30年度末)に増加 											
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考			
						当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)				
	災害時の屋内避難人数					2,800人	—	6,300人				
	災害復旧支援車輛等の駐車場面積					12,800m ²	—	17,830m ²				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	6,214.00百万円	A	6,209.55百万円	B	—	C	4.45百万円	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.1%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・市公園緑地課が実施	令和元年度
	公表の方法
	市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A1 都市防災・公園事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
										H26	H27	H28	H29	H30				
1-A-1	公園	一般	八戸市	直接	八戸市	—	「都市公園事業(長根公園)」	屋内スケート場、駐車場、園路 7.0ha	八戸市						6,209.55	1.45	—	
合計														6,209.55				
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
										H26	H27	H28	H29	H30				
合計																		
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H26	H27	H28	H29	H30				
1-C-1	公園	一般	八戸市	直接	八戸市		防災機能検討調査	防災機能検討調査	八戸市						4.45			
合計														4.45				
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考					
1-C-1	公園整備(1-A-1)の設計業務と一体的に行うことにより、公園全体における防災拠点施設としての機能強化を図る。																	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和元年6月4日

計画の名称	1 広域災害に備えた誰もが安全安心に暮らせる防災拠点づくり (防災・安全)	重点配分対象の該当	○		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)	交付対象	八戸市		
計画の目標	長根公園は、東日本大震災時(2011年3月11日)に救援物資の集積・配送基地となったが、避難場所としては既存施設の老朽化により避難者の安全確保が出来なかった。また、復旧のための支援車輛等の駐車スペースが不足したため、効率的な支援活動に支障があった。今後、厳冬期の大災害では屋内の施設が必要不可欠であり、とくに津波被害による避難についても長期化が予想される。このことから、屋外に設置され老朽化の著しいスケート場を屋内施設に更新し、大災害時の広域避難地、救援救護活動の前線基地、及び復旧のための資機材や生活支援物資の集積・配送基地となる防災施設として、更には、中心市街地に隣接する立地条件を最大限に活用し、市庁舎も近く防災上重要な位置にもあることから、連携した広域的な防災拠点としての機能強化を図る。				
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・屋外に設置され老朽化の著しいスケート場を屋内施設に更新し、冬期間でも活用できる大災害時の広域避難地、救援救護活動の前線基地、及び復旧のための資機材や生活支援物資の集積・配送基地となる防災施設として、更には、中心市街地に隣接する立地条件を最大限に活用し、市庁舎も近く防災上重要な位置にもあることから、連携した広域的な防災拠点としての機能強化を図ったことにより、災害時の屋内避難人数が増加した。 ・屋内スケート場の整備に合わせ、駐車場等の外構整備を実施し、災害復旧支援車輛等の駐車場面積が増加した。			
II 定量的指標の達成状況	指標① (災害時の屋内避難人数)	最終目標値	6,300人	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成した。
		最終実績値	6,300人		
	指標② (災害復旧支援車輛等の駐車場面積)	最終目標値	17,830m2	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成した。
		最終実績値	17,834m2		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項 (今後の方針等)					
・今後も引き続き、屋内スケート場のストック効果を発現するために安全安心な避難路等の整備をすすめ、広域避難地・地域防災拠点としての機能の更なる向上を図る。					

(様式3)

(参考図面)市街地整備

計画の名称	1 広域災害に備えた誰もが安全安心に暮らせる防災拠点づくり(防災・安全)		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5箇年)	交付対象	八戸市

